

現状の課題と前回の運営委員会で出た意見について

1 現状の課題

(1) 地域との連携、地域の人々の参加について

- ・ボランティアは市ホームページで常時募集しているが、申込者は少なく、継続してご参加いただける方も少ない。(平成25年度は少し増加)
- ・今年度はホームページを見て連絡したという大学生もおり、地域人材はまだまだ活用の余地がある。

(2) 体験プログラム以外の活動について

- ・放課後の活動のほとんどがゲームや工作中心で、児童は思い思いの過ごし方をしているため、読書などの活動が少なく、蔵書もほとんどないのが現状。体験プログラム以外の日について、どのような過ごし方を提案していくかが課題。

(3) 待機者(落選したが、参加の意思がある者)について

- ・待機児童がいる一方で、参加が少ない児童もいる。1～2か月参加がなければ、保護者に連絡を取り、状況を聞いているが、すぐに辞退するケースばかりではなく、待機児童の解消はなかなか進んでいない。

※定員の増員により、待機者は、西小が12人、南小が2人に減少。

(平成25年12月1日現在)

平成24年度の西小の待機者：17人

2 平成24年度第2回長久手市放課後子ども教室運営委員会で出された意見

・待機者について

事務局：今年度は待機が現在17名いる。待機があるのを苦心しているので、どのようにしていったら良いか委員の皆さまのご意見をお聞かせください。

委員：例えば、木曜日あるいは金曜日に参加申込みを締め切り、金曜日に予約状況を提示し、空いていれば参加できるようにしてはどうか。35人(当時の定員)に限定しては、たまたま抽選に当たった人が良い思いをしていることになってしまう。

参加日数が0日の人と17～20日の人がいる。開室日数に対して0～2日の参加は無責任である。出席日数が少ない人には勧告し、待機に回ってもらう等、対策をした方が良いのではないか。

→ご意見を受けて、平成25年度の定員を40人に増員しました。

放課後子ども教室はインターネット環境が整っていないため、予約状況の提示は難しい状況にあります。